

平成 24 年 8 月 7 日

関係各位 殿

(独)海上災害防止センター  
防災訓練所

新消防訓練のご提供について（ご案内）

平素から御社には当センター訓練にご参加いただき、大変感謝いたしております。

さて、当センター防災訓練所のコンビナート火災コース（5 日間、最終日「複合火災消防実習」）は、御社を始め全国各地の石油・石化企業様並びに電力会社等の皆様から高く評価していただいておりますが、当該訓練に要する期間が 5 日間と長く、参加者の当直勤務等の割振りに苦慮されているのご意見もいただいておりますところ、来年度（平成 25 年度）より別添のとおり「コンビナート火災実習コース（3 日間）」をご提供できることとなりましたのでご案内申し上げます。

本コースは「初任自衛消防職員の消防実習」、既存コンビナート火災コースは「現場指揮者レベルの消防実習」と区別することで、御社の様々なニーズ・レベルの消防関係研修をお手伝いできると自負しております。

当該訓練について、是非ご参加を検討していただきたく、よろしく願い申し上げます。

なお、当該コースを含む平成 25 年度訓練実施計画は、来年 1 月早々にはご案内できる予定です。

敬具

< 連絡・お問合わせ先 >

(独)海上災害防止センター防災訓練所

住所；横浜市西区みなとみらい 3-3-1

横須賀市新港町 13（研修所）

電話；045-224-4321（直通）

担当；池田（所長）、西内

# “コンビナート火災実習コース”のお勧め

## < 初任自衛消防職員の火災消火体験 >

### ● お勧めのポイント

- 座学(1日)、消防実習(2日)計3日の短期間講習で、参加しやすいコース設定としました
- 受講料は「134,700円/人」、受講定員30名を想定しています
- 実火災(油・LPG火災)の燃焼・炎の大きさ・輻射熱等を体験できます
- 溜まる(プール)、流れる(スピル)火災への基本消火方法を体験できます
- 危険物施設(油貯蔵タンク・タンクローリー・LPGタンク・ガスライン)火災の基本消火方法を体験できます

### ● コース内容

- 火災・消火の基本について座学を行い、基本的な知識を習得します
- 消火器取扱い実習;20型粉末消火器を使用してオイルパン等火災の消火を体験します
- 基本消火実習;40・65m/m水噴霧ノズルの取扱いをプール・スピル火災で体験します
- 角タンク(オープンプール&スピル)火災消火実習;水噴霧ノズルを使用して本格・局限・延焼防止の各役割、併せて泡消火を体験します
- 危険物施設火災消火実習;油貯蔵タンク・タンクローリー火災、ガス(LPG)噴出火災消火実習;水噴霧ノズルを使用して本格・局限・延焼防止の各役割を体験します

**本コースは「初任自衛消防職員の消防体験」、既存コンビ火災コース(5日間、最終日総合演習付き)は「現場指揮者レベルの消防体験」と区別することで、御社の消防関係研修をお手伝いいたします**

各実習は、当訓練所のベテランインストラクターがご指導し、安全管理へも十分配慮して行います

# コンビナート火災実習コース 日程表

月 日	時 間	教 科 名(内容)
第一日	0840 ~ 0910	開講式
	0920 ~ 1050	火災・爆発のメカニズム
	1100 ~ 1200	発火源
	1300 ~ 1400	消火剤
	1410 ~ 1530	消火作業の基本
	1540 ~ 1700	危険物施設火災消火戦術
第二日	0840 ~ 0900	回航(第二海堡へ)
	0910 ~ 1000	実習概要・危険物施設火災消火戦術-1説明
	1010 ~ 1530	油・ガス火災の消防実習 (消火器・ホースハンドリング・消火作業の基本・角タンク・ベーパー回収装置・タンクローリー火災)
	1640 ~ 1700	回航(研修所へ)
第三日	0840 ~ 0900	回航(第二海堡へ)
	0910 ~ 1000	危険物施設火災消火戦術-2説明
	1010 ~ 1500	危険物施設火災消防実習 (LPGタンク・油貯蔵タンク火災)
	1530 ~ 1600	回航(研修所へ)
	1630	修了式